

心臓血管外科で胸骨正中切開

手術を受け、手術後ICUに入室された全ての患者さん、またリハビリテーションを受けた患者さん・ご家族の皆様へ

「心臓血管外科胸骨正中切開術後患者における、早期離床・リハビリテーション加算によるリハビリ介入の検証」について

はじめに

鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部では、心臓血管外科で待機的に手術（胸骨正中切開手術）をされ、手術後ICUに入室し、ICU入室前後にリハビリテーション（以下：リハビリ）を受けられた患者さんを対象に、カルテ、看護記録等（以下、「カルテ等」といいます）の診療情報から得られる情報をもとに研究を実施しています。

この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2014年4月1日から2024年3月31日までの期間に、鳥取大学医学部附属病院において、心臓血管外科で待機的に胸骨正中切開手術をうけ、手術後ICUに入室され、手術前後にリハビリを受けたすべての患者さんのカルテ等から、情報を集めさせていただき、「早期離床・リハビリテーション加算による、早期離床・リハビリが患者さんの身体機能に与える影響」を調査します。また、それ以外にも、「早期離床・リハビリテーション加算によるリハビリ介入が、歩行獲得までの日数、在院日数、日常生活動作に与える影響」、「術後の身体機能に影響を与える因子」についても調査を予定しています。

すべての情報は、鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部で集計されます。なお、情報は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる患者さんは、他の研究対象者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 調査項目

患者さんのカルテ等の診療情報から以下の項目を集めさせていただきます。

【患者さんの情報】

性別、診断時所見〔年齢、体重、診断名、入院日、手術日・ICU入室日、ICU退室日、転

帰日（転退院日）、手術時所見（手術名、手術時間、出血量、人工心肺駆動時間）、リハビリ介入時所見〔体重、BI、血圧、脈拍数、SpO₂値、レントゲン・CT所見、静脈注射投与量・種類、内服薬、人工呼吸器装着の有無・装着期間、生化学検査データ WBC、RBC、Hb、Ht、PLT、AST、ALT、 γ -GTP、ALP、TBil、TP、Alb、AMY、LDL、HDL、TG、HbA_{1c}、UA、Cre、e-GFR、CRP、PT、APTT、Dダイマー）、血液ガスデータ（pH、PaO₂、SaO₂、PaCO₂、HCO₃、BE、Lac、AG）、術前運動機能評価（握力、膝伸展筋力、バランス能力、歩行速度〕、合併症、既往歴、リハビリ内容に関する情報（リハビリ開始日、リハビリ終了日、加算開始前後のリハビリの内容）、経過および転機に関する情報（体重、BI、BMI、退院前（術後）運動機能評価（握力、膝伸展筋力、バランス能力、歩行速度））

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から2030年3月31日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

患者さんの情報は、研究責任者が責任をもって保管、管理します。また、氏名、イニシャル、住所、電話番号、カルテ番号などの直ちに個人を識別できる個人情報は匿名化*され、本研究では匿名化された情報を使用します。また、本研究でご提供いただいた情報は、本研究目的以外で使用されることはありません。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。

*匿名化について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの氏名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつけることのできる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利益・・・今回の研究に情報をご提供いただいた患者さん個人には、特に利益と考えられるようなことはございませんが、研究の成果は、将来の集中治療におけるリハビリの進歩に有益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

不利益・・・カルテ等からの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

情報は、当該研究の終了について報告された日から5年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間

保存します。保存期間終了後は、患者さん個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

患者さん個人の情報を研究に用いられたくない場合には、いつでも取り止めることができます。取り止めを希望された場合でも、担当医や他の職員と気まずくなることはありませんし、何ら不利益を受けることはありませんので、下記【問い合わせ窓口】までお申し出ください。未成年者の方では、保護者の方（父母、成人の兄弟、祖父母、同居の親族などの近親者）からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対しても対応いたします。

取り止めの希望を受けた場合、患者さんの情報を使用することはありません。この場合には、個人を特定できない状態にして、速やかに廃棄させていただきます。

しかし、取り止めを希望した時点で、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合もあります。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部の予算（医療関係教育経費）で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報明らかになることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問だけでなく、患者さんの情報が研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、患者さんの情報の使用を望まれない場合など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

尾崎 まり 鳥取大学医学部附属病院リハビリテーション部 部長

〒683-8504 鳥取県米子市西町 36-1

TEL：0859-38-6862 / FAX：0859-38-6860

*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載してあります。

す。

（URL：<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/>）